

【日野町】
校務 DX 計画

1. 校務 DX の現状

令和3年度に総合型校務支援システムを導入し、校務管理・学籍管理・成績管理・保健管理等のデジタル化を図るとともに、教員同士の情報共有と校務の効率化による業務改善の取り組みを進めてきた。

また、令和3年度に学校情報を配信する連絡アプリを導入し、学校と保護者、学校と関係者間のコミュニケーションの円滑化を実現し、同時に校務の効率化とペーパーレス化を図っている。

2. 今後の課題と方向性

(1) 校務 DX の方向性を検討

校務の効率化により、教育現場の負担軽減と児童生徒に寄り添う教育環境の構築を図るため、学校現場における課題やニーズの十分な把握に努めるとともに、次世代の校務 DX に向けた検討を行う。

(2) ICT 機器の整備と活用

校務の効率化をはじめ、教員の多様な働き方に対応できるよう、校務支援システムのクラウド化や機能拡充などの導入を検討するとともに、実現に向けた財源の確保や導入事例等の情報収集に努める。

特に校務支援システムへの名簿情報の入力をはじめとした、不必要な手入力作業の一掃に向けた取り組みを進める他、グループウェア等を活用した職員会議での資料共有や保護者アンケートなど、あらゆる場面での積極的な活用を推奨し、校務の効率化と教職員の負担軽減を図る。

(3) 教職員の意識醸成

更なる事務効率化やペーパーレス化が図られるよう、既存の校務支援システムや連絡アプリの積極的な活用を推奨するとともに、すべての教職員が意識して取り組むよう教育委員会が主体となって、組織的な働きかけを行う。

(4) FAX・押印の見直し

FAX および押印については、校務を円滑にし、職員の負担を軽減するため、必要な事務を除き、原則、使用しないよう、具体的な対応方法の検討、見直しを進める。